

室内50mプール・飛込プールの建設賛同署名のお願い

現存の施設を改築して開催された二巡目国民体育大会水泳競技は屋外プール（別府市）で行われました。それから16年が経過し、昨今の全国のプール事情は大きく変化し、インターハイや国民スポーツ大会（国民体育大会）は室内50mプールでしか行われなくなりました。昨年の鹿児島特別国民体育大会、今年の佐賀の国民スポーツ大会、3年後の宮崎の国民スポーツ大会はすべて室内50mプールで開催されます。したがって、**現在、九州内では屋外50mプールは大分県と沖縄県の2県となり、全国大会はもちろんのこと、九州規模の大会さえも行うことはなくなりました。**

その理由として、気象状況（台風、雷雨等）による開催の是非や暑熱環境下での運動の危険性を考えた場合、屋外プールで競技会を行うことはリスクが大きいということです。競泳競技においては全国・九州大会の予選を兼ねる競技会も多く、記録的に他県に比べてハンデキャップを背負っているということです。飛込競技においては、風・雷・雨の影響を受け非常に危険であるということ、アーティスティックスイミング（旧シンクロナイズドスイミング）においては、水深が足りず公式競技会が開催できないという実態です。

2016年に開催されたりオオリンピックに渡辺一平選手、2023年福岡県で開催された世界水泳選手権と中国杭州で開催されたアジア大会に渡辺一平選手と田中大寛選手が出場しました。そして今年パリオリンピックに再び渡辺一平選手の出場が決定しています。彼らの活躍は、水泳界はもちろん、われわれ大分県民にも大いに元氣と誇りを与えてくれています。彼らに続いて将来の世代に大分のすばらしさを引き継いでいけるよう、県民の皆さんと共に、室内50mプール建設をお願いしたいと思っております。

健康寿命男女共に日本一を目指す大分県において、県全体が活性化し、スポーツを通して子供たちから高齢者までの健康増進に役立てるためにも、室内50mプール建設の趣旨にご賛同いただき署名をよろしく願います。

令和6年 5月

一般社団法人 大分県水泳連盟 名誉会長 志村 学
会 長 嶋 幸一
副 会 長 板井 哲也 倉掛 賢裕 清田 哲也
大西 浩司 洲 雅明
理 事 長 堤 聖一
事務局長 竹中 昭子
委 員 会 安部 憲毅 中村 慎吾 茶木 康寛
工藤 拓斗 丸山 千尋 新田 城二
野々下秀幸
大分県スイミングクラブ協議会 理 事 長 松川 大悟
大分県障がい者水泳連盟 会 長 竹田 勉
事務局長 平川 奉也